

広報特別委員会記録

令和4年11月21日

【開催日】 令和4年11月21日（月）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時40分～午前10時57分

【出席委員】

| | | | |
|-----|-------|------|------|
| 委員長 | 中岡英二 | 副委員長 | 福田勝政 |
| 委員 | 大井淳一朗 | 委員 | 奥良秀 |
| 委員 | 笹木慶之 | 委員 | 宮本政志 |
| 委員 | 森山喜久 | | |

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

| | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 主査兼議事係長 | 中村潤之介 | 議事係書記 | 若野みちる |
|---------|-------|-------|-------|

【付議事項】

- 1 市議会モニターへのアンケート調査について
- 2 今後の広報活動について
 - (1) 議会だよりの充実
 - (2) ホームページの活用
 - (3) FMスマイルウェーブの活用
 - (4) SNS（フェイスブック・ツイッター・ユーチューブ・インスタグラム・ライン）の活用
 - (5) 市民に対して定例会以外での議場の開放
- 3 その他

午前10時40分 開会

中岡英二委員長 それでは、広報特別委員会を始めたいと思います。付議事項についてですが、1番、市議会モニターへのアンケート調査について協議していきたいと思います。これは市議会モニターの意見をアンケート

で頂き、委員会としてもかなり協議して、準備してきました。それでも、今までの手続に不備がありましたので、ここでおわび申し上げます。この市議会モニターへのアンケートの今後の取扱いについて、委員会で扱っていただければと思いますが、委員の御意見をお聞きしたいと思います。

宮本政志委員 このような貴重なアンケートをせっかく市議会モニターから頂いたわけですから、当然これを今後の広報特別委員会の委員会活動の参考にさせていただくという今の委員長の方向性で私は異議がありません。以上です。

笹木慶之委員 市議会モニターの意見を活用するという方向性についてはいいんですが、その前にあったように、手続に不備があったということのようですので、それについては、きちっと、係る諸団体にお断りをお願いをした上で、諮っていかないといけないと思います。その辺は大丈夫ですか。

中岡英二委員長 その辺は、委員長、副委員長で対応していきたいと思います。

笹木慶之委員 それは絶対に必要条件として、是正されるべきと思いますので、申し上げておきます。

中岡英二委員長 ほかにありますか。

笹木慶之委員 もう1点は、それはそれでいいんですが、今後の方向性として、やはりそれ以外の、広く市民の意見を聞くということも必要だと思います。委員長はその点どのようにお考えでしょうか。

中岡英二委員長 市議会モニターの御意見を聞くのはもちろんですが、各方面の市民の方の御意見も参考にしながら、今後の広報活動に努めていきたいと思っております。ほかに御意見がなければ、この市議会モニターの

アンケート調査を委員会で取り扱っていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

笹木慶之委員 方法論を私はあえて言いませんが、委員長のお考えをただしたわけではあります。

中岡英二委員長 今、具体的には考えておりませんが、文書なり、口頭なり出していきたいと思います。以上です。ほかにありませんか。なければ、付議事項の今後の広報活動について進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）今後の広報活動についてですが、先ほどもありましたように、市議会モニターの御意見を聞きながら、もちろん市民の方の意見を聞きながら、参考にさせていただきたいと思います。今日は私の思いを、皆さんと共有したいと思ひましてこういう資料を作ってまいりました。資料の1として、今後の広報活動について、市民から「議会に関心がない」、「議会で何を活動しているのか分からない」、「委員会で何を活動しているのか分からない」という声を聞きます。広報活動の目的というのは、市民が議会に対して関心を持ち、理解、共感、納得、信頼、参加していただくことだと思ひます。議会が市民に価値がある情報を伝えるとともに、市民の声を聞いて、施策や事業を今後作っていければなというのが私の思ひです。参考資料として、この度、早稲田大学マニフェスト研究会が出された議会改革調査の中で、1, 433自治体のうち、本市は総合ランキング133位、情報共有として25位、住民参画として101位、機能強化として361位と、ある程度の評価は頂いております。今までの広報活動は、それなりに評価されているものと私は認識しております。そして広報活動を広げていく施策として、（1）議会だよりの充実についてですが、議会だよりは皆さんが御存じのように、年間予算として印刷費で246万4,000円が支出されております。定例会ごとに4回作成され、年間の総ページは約60ページ程度です。定例会ごとに2万6,400部ほど作成され、各家庭や小中学校・関係施設等に配布されております。1冊の経

費は約24円で、市民の税金で賄われております。こうした貴重な税金で作られた議会だよりを充実させていくことはもちろんだと思っております。そうした中で、これからの課題ですが、ア) 企画（何を伝えていくのか）、どういう内容を伝えていくのか、今までは新年度予算や、新種のサービス、各委員会の紹介、決算報告、委員会の報告、請願、一般質問、いろいろとありますが、これからはどのような企画を、何を伝えていくのか、その辺を皆さんに意見を頂きながら今後やっていきたいと思っております。イ) として、編集（どのような紙面で表現するのか。紙面枚数はどうか）、全体の編集・デザイン（紙面構成）、読みやすい紙面レイアウトになっているのか、文字サイズ・文字間・段組み・見出し・リード・写真・図表やグラフなどを用いて分かりやすい記事にしていく。記事と写真・図表・グラフの関係が的確であるか。字体・色使い・視覚的効果のバランスはよいか。情報量が適切で読みやすいか。その辺を――企画、編集というのは今までもやられております。そうした中で、ウ) 評価として、先ほども言いましたように市議会モニターに評価していただくと。山陽小野田市議会モニター設置要綱第3条第1項のイで、「市議会の議会だより、ホームページ又はフェイスブックを閲覧すること。」に関するものは評価を頂いてもいいのではないかとという項目がありますので、これからはしっかりと市議会モニターの評価を聞きながらやっていければと思います。もちろん、市民の方、その他の方の御意見も聞きながらやっていければと思います。それを今度は改善していきたいです。次号の議会だよりの改善、市議会モニターの意見、市民の意見が反映されるような議会だよりにしていければと思います。それと新しい取組ですが、議会だよりを各方面、今まで以上に配布していきたいと思っております。予算上も問題があるかもしれませんが、例えば小中学校は今、配布は1枚です。それをもっと増やして、図書館等に置いていただくか、また、現在配布されていない県立高校3校、これは課題がありますが、私立高校1校、市立大学1校へ配布する。将来的には、こうしたところから評価や意見をもらい、議会だよりに載せていければと思います。（2）として、市のホームページの活用。行政のホームページは、

使いづらいとかいう声を聞きます。トップページから、議会だよりに直接リンクされるような改善もしていければなと思います。(3)としてFMスマイルウェブの活用。これは今継続してやっておりますが、これをもう少し充実させていければなと思っております。具体的には、まだそこまで考えておりませんが、今まであるものはフルに活用していければなと思います。それとSNSの活用。これも委員の中では得意な方もおられると思いますし、委員の御意見を聞きながら、また、DXの特別委員会とも情報交換しながら、進めていきたいと思っております。それと(5)として、市民に対して定例会以外での議場の開放。多くの方が定例会以外でも議場を見てもらい、もちろん予約ですね、議会に関心を持つきっかけとなればと思います。また、幼稚園児や小学生が社会見学する一施設となればいいと思います。今後は、今の私の思いを1年、2年、3年掛かると思いますが、今後は各委員の貴重な知恵を頂きながら、また市民の意見を聞きながら、この施策を具体化して、開かれた議会、市民に親しまれる——冒頭でも言いましたけども、議会だよりが愛される、本当に皆さんに期待してもらえる、読みたくなる、そのような議会だよりを作っていきたいというのと同時に、信頼される議会になればと思っております。私の思いは以上です。今日は、私の思いを聞いていただき、皆さんの知恵を借りながら具体的にやっていければと思いますが、何か御意見があればお聞きします。

宮本政志委員 先ほど笹木委員が言われたことにも少し関連するんだけど、資料の裏のほう、ウ) 評価のところ、市議会モニター以外、つまり市民の方からも意見を聞いていこうと思っております。おっしゃったんだけど、それを早急に何か形としてしていくのか。当面は今のこの市議会モニターのアンケートを前提に、それから各委員の個々の考え方、そういったもので今委員長が提案された(1)から(5)は今から議論していくんだけど、市議会モニター以外に、先ほど言われたんで、市民の方からも意見を聞くって言われたんで、何か具体的にこういうふうに市民の意見を聞いていこうと思っておりますよっていうのをされるのかなと思って。

中岡英二委員長 宮本委員が言われるように、まだ具体的なものはありませんが、とにかくこの議会だよりを、小中学校、市民にまずは読んでもらう。まずそこが一番だと思うんですね。そうした中で、もちろん、市議会モニターにアンケートを取って聞いていくのも、今までどおり、そういうふうにやっていけばいいんですが、市民の声を聞くというのは、やはり、違った形で、議会報告会が再開されたり、直接私らが聞くっていうか、なかなか間接的なもので、直接聞くというのがなかなかできないと思います。形式立てて市民に意見を聞くというような具体的な案はありません。

大井淳一郎委員 参考までに、過去、市民の意見を聞く手法として、厚狭高校の生徒、有帆の機関誌を作られている代表の方、FMスマイルウェーブの関係者の方とか、いろいろな意見を聞いて、特集を組んで載せたという実績が何回かあります。それも一つの手法だと思っています。ですので、今、小中学校とか、県立高校とか、市立大学とかという話が出ましたが、そういうところに行って、たくさんの人にはならないかもしれませんが、そういう関係者と意見交換する中で、よりよい議会だよりにするというのも一つの手法かと思っています。以上です。

中岡英二委員長 大井委員が言われたことも、私が小中学校、高校、大学に配っていききたい、充実させていききたいというのも、そこの意見も聞きたいというのがあります。その意見の取り方は、私が持っていくのか、委員で担当を決めて小学校、中学校に年に4回持って行って、そこで御意見を聞けたらいいなという思いは、これを作ったときにはありました。これから、皆さんに貴重な意見を聞きながら、やっていければなと思います。市民からの意見を聞く方法として、ほかに何かお考えがあればちょっとお聞きしたいんですが。ないようであれば、よろしいですか、次に入って。事務局から何かありますか。3、その他についてお話ししていきたいんですが、何かあれば、御意見を……委員から御意見がないようなので、これで委員会を閉じたいと思います。皆さんお疲れ様でした。

午前10時57分 散会

令和4年（2022年）11月21日

広報特別委員長 中岡英二